

概要

排水処理方法の一つにフェントン処理法という技術があり、一般的に装置化され使用されています。ご紹介するコタリストPBという特殊な触媒を加えることで、処理効率が大幅に向上可能となります。

メリット

- 今まで困難であった難分解性のCODやTOCが分解可能となります。
- 錯体金属も分解するので金属水酸化物としての沈澱分離が可能となります。
- 通常のフェントン処理と比較しても分解率が大幅に向上します。
- 使用する鉄塩($\text{FeSO}_4 \cdot 7\text{H}_2\text{O}$)が低減できるので、発生する汚泥が大幅に削減されます。
- 過酸化水素の分解作用があるので、残存する過酸化水素の分解工程が不要となります。
- 既設の設備を少し改造するだけで使用可能です。

処理対象物

- メッキ等の表面処理工程の排水及び廃液
- プリント基板または半導体製造工程から発生する現像液などの廃液。
- 電子部品の洗浄液や剥離液、自動車部品の成型用離型剤に使用されるDMSO(ジメチルスルホキシド)廃液。
- その他、有機・無機化学工場の排水及び廃液。

外観・性状・荷姿

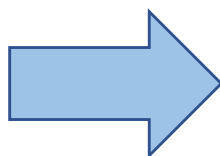


- 湿り気のある黒い粉
- 水に対する分散性良好
- 荷姿は10KGの二重の袋
(外袋：クラフト紙、 内袋：ポリエチレン)

処理の参考例



処理前の写真



青色は錯体の銅イオン
処理後の上澄水は無色透明となる



処理後の写真